

# 新 着 図 書

人権・男女共同参画課では、男女共同参画に関連した貸し出し用図書(約400冊)を市役所 本庁舎 西棟4階の食堂前に備えています。身分証明書をご持参の上、ご利用ください。

貸出期間  
2週間以内

## 『LGBT とハラスメント』

ジェンダー

神谷 悠一、松岡 宗嗣

「パワーハラスメント防止法」が成立し、企業がLGBTに関するハラスメント対策やプライバシー保護を行うことが義務化された。「よくある勘違い」の実例をもとにパターン分けし、当事者との会話に必要な心構えを紹介。

## 『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』

ジェンダー

大前 粟生

恋愛を楽しめないの、僕だけ?  
「男らしさ」「女らしさ」のノリが苦手な大学二年生の七森。こわがらせず、侵害せず、誰かと繋がりたいのに。  
ジェンダー文学の新星!鋭敏な感性光る小説4篇を収録。

## 『化学の授業をはじめます。』

男性、女性

ボニー・ガルマス 著、鈴木 美朋 翻訳

才能ある化学者ながら無職のシングルマザーになった主人公の転職先は、料理番組!?  
「セクシーに、男性の気を引く料理を」というテレビ局の要望を無視し、科学的に料理を説く。しかし、それが視聴者の心をつかんでいく。

## 『この子はこの子のままでいいと思える本』

子育て

佐々木 正美

人間関係が失われ、孤独な親が増えたこの時代に、幸せな親子を増やしていきたい…  
2017年に逝去された、児童精神科医・佐々木正美先生がいちばん伝えたかったことを、お母さんたちの悩み相談に答えながら届けます。

## 『アルジャーノンに花束を』

その他

ダニエル・キイス 著、小尾 美佐 翻訳

32歳で幼児の知能しかないチャーリーは、ある日、ネズミのアルジャーノンと同じ画期的な脳外科手術を受ければ頭がよくなると告げられる。手術を受けたチャーリーは、超天才に変貌していくが…。

## 『星を編む』

その他

風良 ゆう

第20回本屋大賞受賞作「汝、星のごとく」続編。  
花火のように煌めいて、届かぬ星を見上げて、海のように見守って、いつでもそこには愛があった。ああ、そうか。わたしたちは幸せだったのかもしれないね。

## 『トランスジェンダー入門』

ジェンダー

周司 あきら、高井 ゆと里

「LGBT」と一括りにされることが多かった「T=トランスジェンダー」について、さまざまなデータを用いて現状を明らかにすると共に、医療や法律をはじめその全体像をつかむことのできる、初の入門書。

## 『上野千鶴子が もっと文学を社会学する』

フェミニズム

上野 千鶴子

著者の生き延びるための読み解き術!  
老いの「技法」、春画研究での江戸のセクシュアリティ、林真理子や川上未映子の小説から「介護」と「出産」、男のフェミニズムなどを題材に、読んで役立つ分析力に唸る快著。

## 『10代から知っておきたい 女性を閉じこめる「ずるい言葉」』

男性、女性

森山 至貴

差別を考える社会学者が、女性が浴びせられがち「ずるい言葉」から逃れる手がかりを伝授!  
まだまだ日本では、「女性=社会的弱者」。「女性」に対する「こうあるべき」の押し付けなく、生きられるヒントをお伝えします。

## 『いまは、空しか見えない』

その他

白尾 悠

優等生・智佳は、抑圧する父親に反発し、日帰り旅行を決行する。  
長距離バスで偶然乗り合わせた同じ高校に通うギャル・優亜の過去を知り、彼女を助けるため、大好きなホラー映画にヒントを得て計画を練るが…。

## 『モモ』

その他

ミヒャエル・エンデ 著、大島 かおり 翻訳

時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語。  
時間に追われ、人間本来の生き方を忘れてしまっている現代の人々に、風変わりな少女モモが時間の真の意味を気づかせます。

## 『こどもSDGs なぜSDGsが 必要なかがわかる本』

その他

パウンド 著、秋山 宏次郎 監修

未来を担う子どもたちに対し、SDGsと世界が直面する解決すべき問題、そして私たちの生活との関連をわかりやすく解説。  
専門的な言葉もやさしく説明しているので、大人にもわかりやすい内容になっています。

○この参画レターは、下関市立公民館をはじめとする社会教育施設(生涯学習プラザ・市立図書館等)に配布しています。

# … 下関市男女共同参画レター 17

## 令和6年度 男女共同参画意識啓発事業

### 映画上映会「マイ・インターン」を開催しました!

#### 令和6年6月16日(日) 下関市民会館 中ホール

下関市と男女共同参画ネットワーク下関さんしゃいん21の主催で映画上映会「マイ・インターン」を開催しました。当日は、248人の市民の方にお越しいただきました。

この映画は、ファッションサイトを運営する会社のCEOである女性の主人公が、70歳の男性アシスタントの仕事ぶりや助言によって、様々な危機を乗り越え、成長していく物語です。

この映画を通して、年齢、性別に関わらず、一人ひとりを尊重し、互いに支え合い、生き生きと生活できる喜びを感じていただけたことと思います。

また、会場前ロビーにおいて、6月23日から29日までの「男女共同参画週間」に向けて、男女共同参画に関するパネルの展示も行いました。



©2015 Warner Bros Entertainment Inc. All Rights Reserved.

### 参加者の声

- 男女共同参画にぴったりの内容で、とても感動しました。(40代、男性)
- いろんな年代と働くと感じる事も多い。(50代、女性)
- 個々が幸せに自己実現していくことは難しいことですが、いつからでも遅くないと思わせていただきました。(50代、女性)

## 令和5年度 男女共同参画講座

### 『無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)との付き合い方』

#### 令和6年2月3日(土) 勝山公民館 2階 第1研修室

下関市立大学 教養教職機構 准教授の石川 朝子氏を講師に迎え、講座を開催しました。アンコンシャス・バイアスにはいろいろな性質のものがあることや、その形成の要因、付き合い方について、クイズやワークシートを用いて楽しく学ぶことができ、あらためて自分自身を振り返ることができました。講義中は、参加者の皆様から次々に質問が寄せられ、熱気あふれる講座となりました。



令和5年度 男女共同参画講座  
無意識の思い込み  
(アンコンシャス・バイアス)  
との付き合い方  
講師 石川 朝子氏

### 受講者の声

- あらためて知らず知らずのうちに、アンコンシャス・バイアスで物事を見ていることに気づき、反省させられました。(60代、女性)
- 日常の何気ない言動が、他人を傷つけていることもあり得ると思います。今後、言動に気をつけたい。基本的に他人を理解すること、思いやりが大切ではないか。(70代、男性)

発行

下関市役所 本庁舎西棟4階 人権・男女共同参画課

〒750-8521 下関市南部町1番1号 TEL 083-231-7513 FAX 083-231-1437

E-MAIL smjinken@city.shimonoseki.yamaguchi.jp





令和5年度 男女共同参画講座 『若さを保つ健康戦略』

令和6年1月13日(土)
しものせき環境みらい館 3階 第2研修室

独立行政法人 国立病院機構 関門医療センター 女性総合診療センター長・循環器科医長の早野 智子氏を講師に迎え、講座を開催しました。若さを保ち健康寿命を伸ばすために、男性と女性それぞれの気をつけるポイントや若さを保つ秘訣などをお話いただきました。受講者の皆様にとって、性差を理解するきっかけになったことと思います。



受講者の声

- 健診での早期発見の大切さがわかりました。健康寿命を伸ばせるように努めたいと思います。(50代、女性)
● 家で手軽に実践出来る事が多くあって、これから頑張ります。(80代、女性)

令和5年度 ハッピーマイライフセミナー 『情報発信! SNSアップデート講座』

令和6年2月17日(土)
しものせき環境みらい館 3階 第2研修室

合同会社hanawo代表社員の俵 紗弥佳氏を講師に迎え、仕事やプライベートでSNSを活用した情報発信を行うことを目指したセミナーを開催しました。情報発信の際の注意点や効果的な活用方法について、各SNSの特徴や実際のトラブル例、おすすめの無料アプリ紹介などを教わり、受講者の皆様のSNS活用意欲が高まるセミナーとなりました。



受講者の声

- SNSのそれぞれの特徴などが分かって良かったです。また、投稿する時の目的をしっかり持つことが大切だとわかりました。(40代、女性)
● 注意点、発信方法、アプリ等について知ることができて良かった。相手の気持ちを考え活用したい。(50代、男性)

令和5年度 ハッピーマイライフセミナー 『今さら聞けない! 大人のビジネスマナー講座』

令和6年2月23日(金・祝)
勝山公民館 2階 第1研修室

日本サービスマナー協会の藏田 純子氏を講師に迎え、ビジネスシーンにおいて、基本マナー(挨拶、名刺交換、言葉遣いなど)をはじめとしたセミナーを開催しました。不適切表現のチェックや参加者同志の挨拶・名刺交換などもあり、受講者の皆様にとって今まで曖昧にしていた作法や言葉遣いなどを再確認することができ、「私生活でも活用したい」という声が多く出るセミナーとなりました。



受講者の声

- 改めて仕事、ボランティアに活かしていきます。普段ことばの使用に気をつけたいと思います。(70代、男性)
● 再確認ができ、とても楽しかったです。自分が思っていたマナーも間違いないと自信が付き、さらに知らなかったこともあり、勉強になりました。(40代、女性)

キラりん☆TALK



今回は、下関市内にとどまらず、県内で活躍されている鈴木朋絵さんにインタビューをしました。



鈴木 朋絵 さん

(東京都出身)
鈴木法律事務所弁護士
レインボー山口事務局長

Q 弁護士を目指した理由・きっかけは?

結婚・出産・育児などどんなライフイベントが起きても続けられる仕事をしたいと考えていました。ではどの仕事につくか。幼いときから、祖父からのDVで祖母をはじめとした親族がみな大変苦労しました。私も祖母を離婚させてあげたいと思いつけていました。それで弁護士という職業を意識し、目指すことにしました。小学校時代、クラスの男子に「正論ばかり言う」と言われ続けたのもあり、それならそれを活かす職業をめざそうと思いました。

Q 下関の印象は?

風通しがいいですね。北九州にも福岡、広島にも近くて他の町との交流がしっかりできて。町として備えるものはほぼ持っているけど、人混みは少なくてゆっくり過ごせるというのも下関の良さだと思います。もっとみんな下関に住めばいいと思います。観光に使える資源は全部そろっています。下関に昔から住んでいる方から「何にもないまち」でしょ? って言われるので、もっとアピールしたいと思います。

ただ、女性の給与水準は低いですね。特に育児をしながら再就職をする場合に。だから結婚してうまくいかなかった場合のリスクが他の地域よりも高いと感じます。都会エリアに移住していく女性たちを見送るのはさびしく感じます。もっと女性の収入をあげるような企業が増えてほしいです。

Q 仕事のやりがいと苦労したこと

弁護士に相談していただいた結果、お困りのトラブルを一定解決に導けるということです。お客様の生活を立て直し、次のステージに移る準備を整えるお手伝いができます。

難しいのは、DV事件や性暴力事件による二次受傷です。お客様の話を親身に聞くと、自分がまるでその被害を受けたように感じてしまうのが、「二次受傷」です。寄り添いたいと思う一方で、自分の心身まで負担になりすぎると続けることができません。その距離の取り方に、毎回悩み、工夫をしています。

Q LGBTQ支援の活動を始めるきっかけや今後について

下関で自分の結婚式を挙げるときに、東京での友達を呼びました。すると、「自分は同性愛者で、結婚制度が大嫌いだから行きたくない」と断られたことがありました。それが、このテーマに取り組みきっかけとなりました。LGBTQ支援団体の「レインボー山口」も作り、交流会や講演会、イベントの「山口レインボープライド」も行ってきました。この団体を作ったのは、全国の弁護士たちと集まった時に「山口県にはLGBTIに何かしてくれるところ何もないんだよね」と話をしたら、「じゃあ、あなたが作れば」と言われたから。2018年11月のことです。活動するたびにこの地域にニーズがあったことを感じています。

今後、県内のLGBTQの方が自分のセクシュアリティをカミングアウトしたいと思ったときに、安心してできるようになるまでがんばれたらと思っています。今はみなさん、隠さざるをえないと感じている方がとても多いからです。

Q メッセージ

「男らしく」「女らしく」という役割で自分と他人を縛らず、自分らしく生きていくというのが男女共同参画の本当の目的ですね。家事も育児も性別関係なく取り組むのが当たり前になってほしいです。そして、家族の関係は1対1の人間関係の積み重ねです。「家族」が人の心を縛りつける外枠になってしまえば維持できなくなります。家族が、自分を大切にしないのであれば、その人間関係の中に閉じ込められることのないよう、次のステージに移るため、ねばり強くあきらめずに戦ってほしいです。

男女共同参画コラム

「LGBT」とは?

最近よく聞きする「LGBT」。知らないうちに差別してしまわないよう、まずは知ることから始めましょう。

- L (レズビアン) …… 女性として、女性が好きな人
G (ゲイ) …… 男性として、男性が好きな人
B (バイセクシャル) …… 男女両性を好きな人
T (トランスジェンダー) …… 「身体の性」と「心の性」が一致しない人や違和感を持つ人

どんな性を持っていたとしても、「男らしさ、女らしさ」ではなく、「あなたらしさ、その人らしさ」を意識することが大切です。